



崩壊土砂により埋没した家屋からの救命作業（神戸市長田区明泉寺町）



岩屋堰堤上流右岸の山腹崩壊状況（神戸市兵庫区里山町）



宇治川商店街のビル倒壊と流木の堆積状況（神戸市中央区）

～昭和42年豪雨災害～

昭和42年7月9日、台風第7号が集中豪雨をもたらし、六甲山系においては、2,500箇所以上の土石流やがけ崩れが発生。生田川上流の市ヶ原では大規模な斜面崩壊が発生し21名が犠牲となった。

市ヶ原で発生した大規模崩壊（神戸市中央区市ヶ原）

忘れない！  
土砂災害のおそろしさ  
守りたい！  
六甲山と私たちのくらし

本催事は、六甲山麓地域に激甚な被害をもたらした昭和42年豪雨災害から50年の節目を迎えることを契機に「昭和42年災害の凄まじさと次代への継承」及び「山麓に広がる都市のまちづくり、防災のあり方」について考え、土砂災害を経験していない世代も含めた山麓域の住民のみなさんに土砂災害に対する警戒意識や砂防事業の重要性について、改めて認識していただくことを目的に開催します。

# 昭和42年六甲山系豪雨災害から50年講演会

## 開催日

平成29年

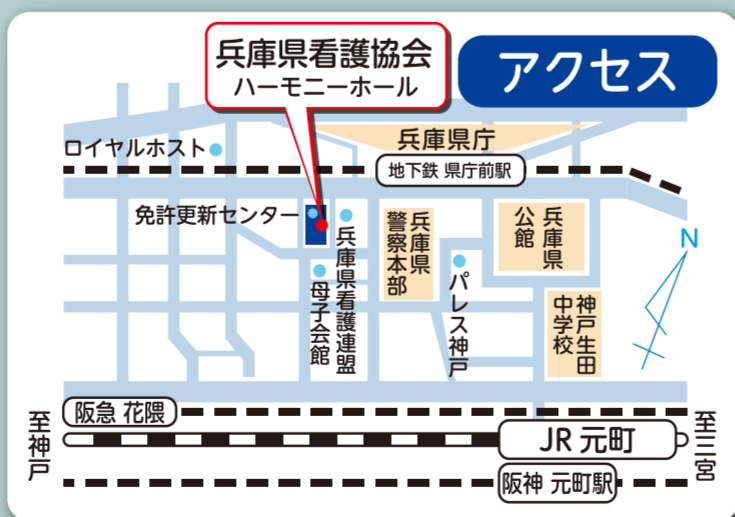
7月29日(土)

参加無料  
先着300名様

13:00～16:00  
(開場 12:00)

## 会場

兵庫県看護協会2階  
「ハーモニーホール」



- [神戸市営地下鉄] 県庁前駅西出口4より徒歩2分
- [JR] 元町駅 西出口より山手方面へ徒歩8分
- [私鉄] 阪神元町駅西出口より山手方面へ徒歩8分、  
阪急花隈駅東口より山手方面へ徒歩10分

プログラム	
開 会 式 典	<b>『昭和42年豪雨災害を振り返る』</b> 映像上映 当時の写真、動画、災害経験者のインタビュー等により災害を振り返る
	<b>『土砂災害への警戒を怠らないために』</b> 若い世代による標語の発表 出演：神戸市立住吉中学校生徒会執行部
講 演	<b>講演① 『土砂災害から命を守るしくみの構築』</b> ～昭和42年災害や平成7年阪神・淡路大震災から学ぶ～ 講演者：沖村 孝（神戸大学名誉教授） 1944年生まれ、兵庫県豊岡市出身。神戸大学工学部、大学院工学研究科修士課程修了後、神戸市職員を経て、1995年神戸大学教授、2008年神戸大学名誉教授として現在に至る。専門は防災工学、地盤工学、地形工学、水文学。主な研究テーマは豪雨時の山崩れの予知・予測など。土木領域では六甲山研究の第一人者。
	<b>講演② 『災害を忘れない』</b> 講演者：三上 喜美男（神戸新聞論説委員長） 1958年生まれ 神戸新聞論説委員長 大阪外国語大学（現大阪大学外国語学部）卒業 神戸新聞記者として社会部、阪神総局、姫路支社、文化生活部などで勤務 文化生活部長、論説副委員長を経て現職 名古屋市立大学「22世紀研究所」特任教授 著書に「大震災・市民篇1995」（長征社、共著）など

\*出演者やプログラムの内容は、変更になる場合があります。予めご了承ください。

## 参加申込方法

専用HP・フリーダイヤルからお申し込み下さい。

専用HP  
電話  
FAX

<https://sanka.sabopc.or.jp/> (受付期間：7月20日(木) 20:00まで)  
☎ 0120-301-780 (受付期間：7月20日(木)までの平日 10:00～17:00)



携帯・スマートフォンから